



世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

# 国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報 THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

〔創立〕1964年3月2日 〔例会日〕毎・金曜日12時30分 〔例会場〕オークラ千葉ホテル  
〔会長〕伊藤 和夫 〔幹事〕石井 慎一 〔会報委員長〕廻 辰一郎  
〔事務局〕〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2015-2016年度

## 第2504回



平成27年7月17日(金) 点鐘12:30 <晴>

- \* ロータリーソング『手に手つないで』
- \* 四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
  1. 真実か どうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情を深めるか
  4. みんなのためになるか どうか

### \*\*\* お客様紹介

- ◇本日のゲストスピーカー  
フリーアナウンサー 西野 七海様
- ◇千葉RC / 門山 宏哲様

### \*\*\* 会長挨拶及び報告 伊藤 和夫会長

先日、ある大先輩より「伊藤さん、あんた声が小さいよ。」と言われましたので、マイクの使い方を研究しようと思っておりましたが、本日、フリーアナウンサーの西野七海さんにお越しいただいていますので、そういうところを教えてくださいたいと思います。私も、できるだけ大きな声で、皆さんに聞こえるように話をしたいと思えます。

また、会長は、例会で必ずロータリーの話をしてください、ということをご地区の方から言われておまして、それの一つずつ実行していこうと思っております。

先ず、今日は、ロータリーの創設者ポール・ハリスの話をしてしようかと思えます。ポール・パーシー・ハリス 1868年4月19日生まれ 日本:明治維新(いやーロッパ君、明治だよ!)

父 ジョージ・ハリスの次男。父は職を転々とし、親(ポール・ハリスの祖父 ハワード・ハリス)の資金援助で薬局を経営。やがて倒産。父 ジョージ・ハリスは妻と幼い娘を置いて、二人の男の子を連れて生まれ故郷ウォーリングフォードへ帰りました。

ポール・ハリスは祖母 パメラ・ハリスに「おじいさんは、息子のジョージにたくさんのお金を使ったが失望していた。そこに神様からの贈り物のように孫のポールが帰ってきた。おじいさんは、希望をすべておまえに託すんだ

よ。おじいさんの期待を裏切っちゃいけないよ。おじいさんの為にも一所懸命働いて立派に生きるんだよ。」と話しました。

人生は、持っている物で計られるものではなく、人の内側にあるもので決まり、誠実さ、儉約、寛容、友情が中心的価値観であるということをご子供時代にこのウォーリングフォードで学びました。

ポールは、法学部の卒業式の講演で「卒業してすぐに大きな法律事務所に雇われたりせずに、まずは田舎町に行って5年間しっかり恥をかき、その後で都会に落ち着いて好きな事務所を選びキャリアを築けばよい。」という話を聞き、5年間の愚行を決意し実行しました。旅にでたポールは、サンフランシスコで新聞記者、カリフォルニア、ロサンゼルス、コロラド他に行き、カウボーイ、舞台俳優などできる仕事は何でもやりました。イングランドに向かう家畜船の水夫、ロンドンへ向かう船の乗組員として憧れのロンドンへ向かう船で過ごした数日は、ポールの人生で最も幸せな日々だったそうです。

そろそろシカゴへの移住に向けて貯金をする為ジャクソンビルに戻り、友人のジョージ・クラークに暖かく迎えられ、大理石と御影石を販売する仕事につきました。ポールは会社業績を伸ばし、ジョージから今後も一緒にやって今よりはるかに高額な収入を約束されましたが、ポールは「シカゴに行くのは金儲けが目的ではなく、そこで人生を切り開くためだから。」と答えました。5年の放浪生活でポールは、空腹や寒地や孤独を身をもって味わいました。自分の能力だけに頼って生き延びる事を学び、人生とは自分から注いだだけのものを得るためだと学びました。

放浪生活の後、シカゴで法律事務所を開設したポール・ハリスは28歳でした。数年後には仕事は順調に成功していましたが、個人的な友人を見つけられず、よそ者同志が商売でも友情でも一つになれる憩いの場を求め一粒の糧がポール・ハリスの肥沃な心に蒔かれたのです。

1905年(明治38年)2月23日木曜日の午後遅く、ポール・ハリスとシルベスター・シールはレストランで夕食を共にし「親睦とビジネスを推進する」という構想について話し合いました。そして、その2、3日前にこの案に大賛成した鉱業エンジニアのガスターパス・ローアの事務所に二人は行きました。ローアは友人の生地も扱う仕立て屋のハイラム・ショーレーを招待していました。事務所に

は会議室はなく、4人は机の周りに椅子を引き寄せて座りました。「ロータリークラブの誕生です。」

2月23日は、ロータリーの創立記念日です。  
(本日の資料は、国際ロータリー第2970地区・地区研修委員会の冊子「ロータリーを理解しよう」からです。)

### \*\*\*委員会報告

#### 青少年奉仕委員会より (金親 博榮委員長)

20日(月)(海の日)は、第13回国際里山の集いが開催されます。草刈の開始が10時ですので9時頃には集合してください。午前中、草刈を行い、午後はバーベキュー大会の予定ですが、今回の参加は総勢で70名超になります。留学生の方もたくさん来られますが、今回一番古い方では、1969年にGSEのメンバーだったよ、という人も来てくれます。アトラクションとして、千葉大のモダンジャズ研究会の方々に参加いただけます。

### \*\*\*幹事報告

石井 慎一幹事

◆成田空港南RCより、創立50周年記念式典開催のご案内が来ております。

日時⇒ 2015年10月15日(木) 点鐘13:30

会場⇒ 成田ビューホテル

◆次週24日の例会は、納涼懇親夜例会です。

点鐘⇒18:00 会場⇒オークラ千葉ホテル・中庭

### \*\*\*ニコニコボックス報告

#### 《伊藤 和夫会長・石井 慎一幹事》

先週末から真夏の日差しとともに高校野球千葉県予選が始まりました。会員の皆様の母校の調子はいかがでしょう。残念なことに我々の母校は既に1回戦で敗退してしまいましたが、一生懸命頑張った選手諸君に“お疲れ様”と声を掛けたいですね。

西野七海様、本日の卓話をお引き受け下さり、有難うございます。「応援される人の聴く力・伝える力についてのお話し、楽しみにしております。

千葉RC・門山宏哲様、例会をお楽しみ下さい。

本日のニコニコボックス	2,000円	累計	45,000円
金の箱	500円	累計	2,270円

### \*\*\*出席報告 (会員数50名)

出席者数30	欠席者数20	ビジター 2	修正出席率78.42%
--------	--------	--------	-------------

#### 千葉市内例会変更のご案内 [メニュー](#) [キャップ](#) [ご利用下さい。](#)

千葉RC	月	8/10・8/17	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	8/4・8/11	センテイタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	7/28・8/4	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	8/5・8/12	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	8/5・8/12	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	7/30・8/13	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	7/30・8/13	京成ホテルミラマーレ

## 本日の卓話

演題⇒「応援される人の聴く力・伝える力」

卓話者⇒ フリーアナウンサー 西野 七海様



はじめまして、アナウンサーの西野七海(なみ)と申します。本日はこのようなお席にお招きいただき光栄です。ご縁をありがとうございます。

初めに簡単な自己紹介をさせていただきます。出身は東京の葛飾区、浅草と柴又のちょうど真ん中くらいに位置する下町で育ちました。高校を卒業後、

銀行に就職し、現在の三菱東京UFJ、当時の三菱銀行で3年間窓口業務を担当しました。その後、NTTに転職し、社内の式典の司会、会社の広報ビデオを制作するなどの業務を担当いたしました。アナウンサーになるきっかけが出来たのもその頃です。広報業務を担当する中でプロの制作会社の皆さんの仕事を目の当たりにし、NTTを退職してアナウンサーへの転身を決意しました。

とは言っても既に27才でしたのでテレビ局やラジオ局に就職することは不可能です。友人には「今から?」「NTTを辞めちゃうの?」と大反対されましたが「話す仕事だったら何でもやろう!10年頑張ってもダメだったら諦めよう!」という想いでアナウンススクールに通いました。当時、応援してくれたのは家族だけです。そして約半年後、アナウンサーの大御所である押坂忍さんの事務所に所属が決まり、今日まで様々な番組を担当させていただくようになりました。これまでの代表的な番組はフジテレビのめざまし天気のお天気キャスター、NHKの国際報道番組などです。千葉にご縁のある番組は、アクアライン開通時に海ほたるのオープン特別番組を生中継でお伝えしたり、東金やっさ祭りのリポーターを務めたり、千葉テレビの音楽番組を9年間担当させていただきました。そして現在は全国各地のラジオ局でショッピングキャスターを務めさせていただいております。

私は大学にも行っていませんし、語学が堪能なわけでも、美人でスタイルが良いわけでもありません。こんな私がなぜ24年もこの世界で食べてくることが出来たのかと考えると、それはきっと多くの方に応援していただいたからだと感じております。私は人のご縁をとっても大切にしています。常に「何かお役に立てることはありませんか?」という気持ちを持っております。お世話になった方が「あまり予算がないんだよね」と言えば「ご恩返しですからボランティアでもいいですよ」と答えてきました。そんな事を繰り返してきたら段々感謝されるようになり、多くの方に応援していただけるようになりました。

今、私の自慢は24年間レギュラー番組が途絶えなかったという事です。そして今後の目標は先日お亡くなりになった愛川欽也さんのように生涯仕事を続けるという事です。幸いこの仕事は定年がございませんので自分で辞めると思うまでは続けられます。ですから70才までお仕事のご依頼をいただけるように頑張りたいと思って

おります。こんな私ですが元々話す事はあまり得意ではありませんでした。どちらかという本を読んだりラジオを聴いたりする方が好きでした。ではなぜアナウンサーとしてやってこれたのかと言いますと、話すよりも聴く方が好きという私の性格も功を奏したと感じています。

アナウンサーの仕事は話すことがメインだと思われている方が多いと思いますが、実は話すよりも聞く方が多いというのが現状です。インタビューはその代表的なものです。これまで企業経営者や知事、大臣など多くの方にインタビューをさせていただきましたが、特に難しかったのがスポーツ選手へのインタビューでした。私はJリーグ開幕当時、千葉テレビを中心に試合中継のベンチリポーターを務めさせていただきました。ベンチリポーターの仕事は試合前に自分で監督や選手に取材をして、試合中に実況の邪魔にならないタイミングで、視聴者の方に「へえ、そうなんだ」「なるほど」と思っただけのような情報をコンパクトにお伝えするというものです。一回のリポートは大体30秒くらいが目安です。なるべく多くのレポートネタを作るために取材をするのですが、試合前は話しかけないでというオーラを発している選手もいますし、負けた試合後のインタビューはとても難しく、最初のうちはなかなか話してもらえませんでした。結構悩んでしまい円形脱毛になったくらいです。

しかし、その後、転機が訪れました。それはジェフ千葉(当時はジェフ市原)の応援番組のキャスターを務めるようになった事です。ジェフに対して特別な思い入れを持って取材をするようになると、不思議な事に監督も選手もチームの広報担当の方も驚くくらい色々話してくださるようになり変わりました。なぜ変わったのか?それは質問をする私が変わったからだと思われまふ。それまでの私はリポーターという立場上、全てのチーム、全ての選手に平等に公平に接しなければいけないと考えていました。選手の皆さんは「当たり前障りのないつまらない質問」「みんなと同じ質問だ」と感じていたと思います。しかしジェフの応援番組を担当するようになって、毎試合神様に祈るような気持ちで応援し、家族のような気持ちで悔し涙も嬉し涙もチームスタッフや選手と一緒に流すようになりました。するとインタビューの質問にも自然と「気持ち」が入るようになり、あらかじめ質問事項を用意しなくても会話のキャッチボールが出来るようになったのです。聴くということは「気持ちの部分」がとても大切なんだと勉強した出来事です。

実は5年前くらいからアナウンサーとは別に研修講師のご依頼をいただくようになりました。専門分野は「新入社員研修」「接客研修」「コミュニケーション能力の向上」などです。全国各地の百貨店やショッピングモールなどからご依頼をいただいております。なぜアナウンサーの私に研修のご依頼が来るようになったのかと言いますと、最近の若者は欠勤や退職の意思などをメールで伝えるほどコミュニケーション能力が極端に不足していて、そういった事態に危機感を持った企業の採用ご担当者からお声がけいただくようになったのが始まりです。オンラインショッピングが定着し消費者はいつでもどこでも好きな時に好きな物を買えるようになりました。その結果、流通

小売業界は「商品力」でライバルに差をつけることは不可能な状況に陥り「販売員の接客力」「人間力」がとても重要になっています。ライバルとの違いを明確に打ち出して、多くのお客さまにご来店いただき、目の肥えたお客さまに選んでいただくためには「優秀な社員や販売員の育成」が求められているのです。特にパートやアルバイトスタッフが多く、人材の入れ替わりが激しい業界においては非常に難しい問題ですが、そつのない応対が出来る人材ではなくお客さまに期待以上のご提案が出来る“接客や販売のプロ”を一人でも多く育成しなければならないのです。

そこで初対面の方にも好感を持ってもらえるような第一印象の作り方、笑顔の作り方、挨拶の仕方、質問やニーズの引き出し方などを教えるようになりました。ロータリークラブの皆様は経営者の方も多く「指導する立場」だと思ひます。せっかくだすから今から第一印象をよくする挨拶、美しい立ち姿勢とお辞儀の仕方をお伝え致しますので是非部下や後輩の皆さんを指導するときにお役立て下さい。どなたか前にお一人、その場で一緒にやっしてくださる方は是非ご起立下さい。まず立ち姿勢です。かかとを付け背筋を伸ばし、つま先を少し開きます。顎を引きましょう。手は体の前で右手の上に左手を被せます。お辞儀は30度の角度の普通礼で挨拶の言葉は「はじめまして、本日はよろしくお願ひいたします」にしましょう。大事なポイントは笑顔と「お願ひいたします」の「す」まできちんとお辞儀をするという事です。フライングをしないようにしましょう。このメリハリが大切です。第一印象の善し悪しはたった10秒で決まってしまう。大切なのはとびっきりの笑顔と「お会い出来て嬉しいです。よろしくお願ひします」という気持ちです。ありがとうございました。ご着席下さい。挨拶が終わると会話が始まりますが、相手の話を聞く時にも大事なことがあります。聴く時の注意点はアイコンタクトをしっかりとって一方的に話し過ぎない事です。聴くを7で話すを3の割合にしましょう。話す時には相手のテンポやペースに合わせる事、うなずきや相槌も大切です。復唱(オウム返し)や共感の言葉「素敵ですね」「いいですね」「素晴らしいですね」「すごいですね」などを会話の途中でしっかりと言い気持ちよく話をしていただきましょう。これからは「聞く」ではなく「聴く」です。10の耳と目と心がある「聴」の方で相手の話に耳を傾けましょう。本日は「応援される人の聴く力と伝える力」というテーマでお伝えいたしました。

ご静聴ありがとうございました。

#### 第2505回例会

##### 《納涼懇親夜例会》

日時⇒ 平成27年7月24日(金) 点鐘18:00

場所⇒ オークラ千葉ホテル 中庭

#### 第2506回例会

##### 《第3分区A・B合同インターシティミーティング》

日時⇒ 平成27年8月4日(火) 点鐘15:00

会場⇒ 京成ホテル ミラマーレ